

2013年4月13日(土) 開催

たんぽぽの会 の オシャベリに花が咲く、 お花見会

福岡市動植物園にて毎年恒例の九州がんセンター乳がん患者会たんぽぽの会のお花見会が今年も開催されました。ここ数日寒い日が続いており天候も危ぶまれていましたが、当日は穏やかな気候に恵まれてまさにお花見日和。総勢 16 名で、園内のどの花より鮮やかで明るく晴れやかな笑顔が咲き誇りました。





植物園最大のポイント、大花壇。年4回植え替えが行われ、花の種類や色によってデザインが変わりそうです。周囲には1100株もの花々が圧巻でした。

さまざまな患者歴を聞き話す

家族と話をしたくなかったり、顔すら合わせたくなかったり。そんな体験談、辛かった告知、治療体験を明るく話す様子は、家族・友人・入院仲間など周囲の方々のメンタル面の支えが肉体的に耐えがたい苦痛をも和らげる効果が確かにあるのだと心強い気持ちになります。皆がエネルギーの充電ポイントをいくつか常に持っていて、その割合の中でも患者会が大きい部分を占めるようでそのおかげで日々の生活での闘病心が高まるのだそう。

まずは、華やかで色とりどりのお弁当を戴いてから、自己紹介で患者歴などを語り合い、くじ引き大会やゲーム、お花見ウォーキング。。。お菓子や「是非くじ引きの景品に」と頂いたてづくりキットや、自家製ハリハリ漬など皆の持ち寄りも盛り沢山。特にハリハリ漬は大根の歯ごたえと深い味わいが好評で、1リットルあったタッパーをあっという間にカラにしてみました。

くじ引き大会での特別賞のエプロンは、博愛会病院ハートの会代表の簗田さんからの心のこもった手作り！ゲームを勝ち

抜いた方もそうでない方も、ブローチや靴下、お菓子やスプーン、コースターなど、たくさんの手土産をいただきました！皆さん本当にパワフル。花見後の帰り際には、あともう少しだけお話を…と松楓園に立ち寄り、お抹茶をおしとやかに(?)

たしなみ、最後まで賑やかに、**また来年の再会を楽しみに!**と花見の幕を閉じました。中には朝早くから大牟田市や佐賀県など遠方から来られる方もいらっしゃいました。



当選したエプロンを手に話も弾みます

ちょっと覗いてみたいなと感じたら、是非

普段ゆっくり顔を合わせる事のない方々との年に一度の花見会が結びつきを更に強めます。がんになったのは大変な事かもしれないけど打ち明ける事で心がほぐれ、洗われ、勇気を貰える、そんなたんぽぽの会お花見会です。会員に縛らず、どなたでもご自由に参加していただいております。ぜひ一度、参加してみませんか？